

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	Long catheter を用いた distal radial approach による 観血的持続動脈圧測定の有効性と安全性に関する観察研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	大井 真里奈(北里大学医学部 救命救急医学・助教)
他の研究機関および 各施設の研究責任 者	なし
本研究の概要・背 景・目的	集中治療室に入院するような重症病態の場合、多くの患者さまが血圧の持続モニタリングや頻回な血液検査のため観血的動脈圧ライン(A line)の挿入が必要となります。しかし、手首の関節部分に挿入するため、手の屈曲進展運動に伴ってカテーテルが偶発的に抜去されてしまうケースが多発しており、対策に難渋していました。近年、解剖学的嗅ぎタバコ入れと呼ばれる手背側部分からカテーテルの挿入を行うことで手関節運動抑制の軽減やカテーテル抜去時の止血時間短縮につながることが報告されています。我々は、A line の挿入を手背側部分から行うことで手関節運動の影響を受けることなく偶発的な抜去率の軽減につながると考えています。 2019 年から前向き臨床研究を行い、手背側からのカテーテル挿入に関する安全性はすでに検証しておりますが、短いカテーテルでは偶発的なカテーテルの抜去率は減少しませんでした。そこで、今回は長いカテーテルを使用して偶発的な抜去が減少するかを検証することを研究の目的としています。
調査データ 該当期間	2021 年 5 月 1 日～2022 年 7 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2021 年 5 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までに当院の集中治療室に入院し、手背側からの A line 挿入をおこなった患者さま。 (ご自身が該当するか分からない場合には、対象期間に当院集中治療室に入院していれば対象となっている可能性があるため、お手数ですが下記連絡先までお問い合わせください。) また、本研究は 2019 年 8 月 21～2022 年 3 月 31 日までに当院で施行した「観血的動脈圧ラインの新たな挿入部位・固定方法に関する前向き臨床研究」(承認番号 C19-074)で収集したデータを 2 次利用する予定です。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2021 年 5 月 1 日～2022 年 7 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 本研究の資金は北里大学医学部救命救急医学の学内研究費のみを使用します。また、利益相反に関しては、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。また、承認番号 C19-074 の過去の研究に該当する患者さまで、データの2次利用をご希望されない場合も下記連絡先までお申し出をお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部 救命救急医学・助教 担 当 者：大井真里奈（オオイマリナ） 電 話：042-778-8111
備 考	なし